

令和元（2019）年度 事業報告書

★ 大阪工業技術専門学校

1. 学科別出願者、入学者数の状況

(令和2年5月1日現在)

学科名 \ 区分	入学定員	出願者	入学者
建築学科	120名	157名(149)	141名(128)
建築設計学科	30名	33名(27)	31名(22)
設備環境デザイン学科 [募集停止中]	[25名]	—名(14)	—名(14)
インテリアデザイン学科	40名	45名(38)	42名(36)
大工技能学科	40名	40名(42)	34名(42)
ロボット・機械学科	40名	51名(63)	44名(46)
建築士専科	50名	30名(53)	28名(46)
Ⅱ部建築学科	50名	47名(45)	43名(42)
フレックス建築学科	40名	7名(4)	7名(4)
合 計	410名	410名(435)	370名(380)

() は昨年度数

2. 就職の状況

① I 部 卒業生

(令和2年3月31日現在)

平成29年度	平成30年度				平成29年度				平成31年度/令和1年度			
	卒業者	求職者	内定者	内定率	卒業者	求職者	内定者	内定率	卒業者	求職者	内定者	内定率
建築学科	74	39	36	92.3	81	50	44	88.0	88	65	56	86.2
建築設計学科	13	11	10	90.9	25	22	20	90.9	14	9	9	100
設備環境デザイン学科	8	8	8	100	9	7	7	100	11	11	11	100
大工技能学科	25	21	21	100	41	34	34	100	31	31	30	96.8
インテリアデザイン学科	16	15	13	86.7	17	8	6	75.0	24	16	16	100
ロボット・機械学科	36	31	29	93.5	44	42	42	100	40	38	37	97.4
建築士専科	30	30	30	100	38	38	36	94.7	46	46	45	97.8
合 計	202	155	147	94.8	255	201	189	94.0	254	216	204	94.4

※ 内定率は、内定者÷求職者で、単位は%です

3. 教育行事

1) 企業研修 夏季:全学科合計 152 名 (H30:97 名、H29:91 名、H28:93 名、H27:94 名、H26:49 名)

春季:全学科合計 23 名 (H30:60 名、H29:52 名、H28:55 名、H27:67 名、H26:42 名)

※ 夏季または春季休暇期間中の 1~2 週間で実施 (春季はコロナ感染拡大により中止とした)

2) 保護者会の実施

※1 年生対象:入学式後と 12 月 (計 2 回)、2 年生対象:4 月開催 (1 回)

3) 大阪府「あすなる夢建築」コンペへの参加 ▶H31 年度 1 名グランプリ、1 名奨励賞受賞

4) 大阪府万博公園、泉佐野丘陵緑地公園、大阪府水生生物センター等への大工技能作品寄贈

5) ロボット競技会の実施、及び全国専門学校ロボット競技会への参加

※第 27 回全国専門学校ロボット競技会 (R1/12/20) の結果

▶有線型、2 足歩行型の 2 部門で優勝と団体優勝

6) Honda エコノパワー燃費競技鈴鹿大会 (エコラン) への参加

4. 教育改革等

入学直後に実施する学力テストの結果を元に選出した学力低位者を対象に「基礎学力育成講座 (金曜午後 1 コマ)」を開講し学力の底上げを行った。専門教科の内容理解のためには基礎学力が必須であり、入学者の中には基礎学力が不足している者も少なからず存在し、これら補習講座の実施によって除中退の減少に多少の効果が図れたと推察する。また、業界ニーズに対応するため、昼間部からスタートさせた「BIM 教育」(BIM 対応の 3 次元 CAD により PC 上に現実と同じ建物の立体モデルを再現し設計に役立つ手法)を夜間部にも拡充した。卒業設計や学外コンペに於いてその効果を発揮。また、広報、求人企業へのアピール材料としても有効なものとなった。

次に、キャリアデザイン授業の一部である「進路基礎講座」は社会人マナーや SPI 対策、学生の進路意識向上や活発な進路活動を促すことに効果を上げている。「企業研修」への参加学生数が夏季に昨年度より大幅に増加した。これは企業側が採用活動の一環として重視する傾向が一因と思われる。春季の減少についてはコロナ感染拡大により途中で中断せざるを得なくなったことが原因である。

企業研修は職業意識の強化や適性確認等、効果的に進路意識向上を図る術でもあり、次年度に向けて企業研修参加への継続的な指導を強化する。

最後に、全学科 (建築士専科・フレックス建築学科を除く) に於いて、文部科学大臣より「職業実践専門課程」に認定されていることから、実践的教育活動に向けたコンテンツの作成を各教育課程編成委員会を通じて、そこから出される意見を参考に継続的な検討を行った。その中で全学科において半期 16 週授業への整理とそれに伴うシラバスの整理に着手した。

また、真の意味での職業実践、産学接続を実現すべく各学科で企業、行政等と連携した教育行事を行った。

(1) 資格取得強化事業

新入生全員(リカレント学生を除く)に対して実施している『ビジネス能力検定3級・2級(文科省後援)』と学科の授業科目に対応した『福祉住環境コーディネーター3級』、『2次元CAD利用技術者2級』及び建築士専科が100%合格を目標としている『2級建築士試験(国家資格)』の合格率は下記の通りである。

II部・建築設計学科等を除く全学科(1年生)

(令和1.12.1実施)

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
ビジネス能力検定3級	166名	115名	69.3%	76.5%
ビジネス能力検定2級	9名	8名	88.9%	67.4%

建築学科A・B・Cクラス(1年生)

(令和1.7.7実施)

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
福祉住環境コーディネーター3級	105名	33名	31.4%	60.6%

ロボット・機械学科(1年生)

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
2次元CAD利用技術者2級	9名	1名	11.1%	49.2%

建築士専科

2級建築士試験					
	受験者数	合格者数	不合格者数	合格率	全国平均
学科試験(1次)	46名	44名	2名	95.7%	42.0%
製図試験(2次)	44名	33名	11名	75.0%	46.3%
総合	46名	33名	13名	71.7%	22.2%

☆ エクステンション事業

資格取得支援事業として、主に卒業生及び在校生を対象に各種試験対策講座を実施した。

・講座事業

資格試験対策講座	受講期間	受講時間	受講者数
2級建築士合格講座(製図)	2か月	60時間	24名
第2種電気工事士講座(筆記&技能)	4か月	65時間	23名
合計			47名

*積水ハウス 設計マインド研修

1年次導入版として、10/6、24、26に入社1年目社員159名に研修(講習)を実施した。

4年次中級版として、8/22、23、26、27、9/2、3、9、10に入社4年目社員69名に研修(講習)を実施した。

☆ 校友会の活動状況

1. 第82期 総務会をキャッスルホテルにて開催（令和元（2019）年11月4日）
2. 校友会 創立80周年記念誌「新時代へ」を発刊した。（500冊）
3. 支部活動を推進する為に10エリアの各支部を訪問し、意見交換会を行なった。
4. 支部活動では、奈良・三重・滋賀支部：安土城見学会、Ⅱ部建築学科：新社会人・新入生歓迎会及び秋の味覚祭、大阪支部：Walk in 龍野、奈良・三重支部：出前授業（朱雀高校）、近畿地区：支部長意見交換会などを実施した。
5. 学生自治会との協同行事：合同バスツアー（滋賀ブルーメの丘）を実施し、座談会も開催した。
6. 新外国留学生歓迎・交流会として、歴史博物館見学と食事会を実施した。
7. その他、例年通りドラゴンボート選手権大会に出場、資格取得者への報奨金制度、校友会ネットワーク推薦制度、在学生への奨励制度を実施した。

★ 大阪リハビリテーション専門学校

1. 入学試験の状況

学科名	区分	入学定員	志願者	合格者	入学者
Ⅱ部理学療法学科（3年制）		40名	46名 (39)	36名 (34)	31名 (30)
Ⅱ部作業療法学科（3年制）		40名	49名 (57)	38名 (42)	33名 (39)

（ ）は昨年度数

2. 国家試験の合格者数の状況

専任教員による国家試験対策授業、校内模擬試験、外部講師による直前対策セミナーを実施し、以下のとおり国家試験に合格した。

(1) OCRの合格状況

	受験者数	合格者数	合格率
理学療法士	37名	37名	100.0%
作業療法士	29名	27名	93.1%

(2) 全国の合格状況

	受験者数	合格者数	合格率
理学療法士	10,749名	10,019名	93.2%
作業療法士	4,795名	4,515名	94.2%

3. 就職の状況

求人状況は理学療法士2,683件、作業療法士2,447件であった。

両学科ともに、専任教員が求人票に基づき学生指導を行うと共に、臨床現場におけるネットワークを最大限活用し就職支援を行った結果下記の通り成果を得た。

	卒業者数	国家試験合格者数	専任職としての就職者数	
			資格に係る業	その他
理学療法学科	37	37	36	0
作業療法学科	29	27	24	1

4. 教育指導

両学科とも夜間学科として勤労学生等の学びやすい環境を整備する観点から、カリキュラム編成時間割編成について検討を重ねた。

理学療法学科では、18時間開講とし、土曜日の夜間においても授業を行っている。

本来授業のない土曜日の昼間には、事前に学生にアナウンスして、臨床ゼミナールを中心に時間割を編成し、実技指導を中心に教育を実施した。

作業療法学科では、同様の理由から現在行っている時間選択制を続け、その功罪の検証を重ねている。

成績不良者に対しては、きめ細やかな学習支援、個別指導、2回の保護者会開催等の策を講じ、留年については退学を防ぐことに、注力した。

また、両学科ともに職業実践専門課程として学校関係者評価委員会を1回、教育課程編成委員会を2回開催し、外部の委員の意見を取り入れながら教育方法の改善等を行った。

5. 学習環境（施設）の整備について

- ・ 2号館の空調設備一部改修工事を行った。
- ・ 2号館トイレの全面改修工事を行った。

★ 大阪保健医療大学

1. 入学試験の状況

(名)

区分 専攻名	入学 定員	志願者									入学者
		AO	公募制 推薦	一 般 (センター併用)	チャ レンジ	社会 人	指定校 推薦	一般 (ST)	第一 次 第二 次 (研究科)	合 計	
理学療法学 専攻	70	87 (71)	103 (93)	58 (35)	29 (30)	1 (0)	10 (3)	—	—	288 (232)	84 (74)
作業療法学 専攻	30	26 (27)	33 (36)	22 (14)	19 (20)	0 (1)	4 (5)	—	—	104 (103)	36 (37)
言語聴覚 専攻科	40	—	—	—	—	—	—	32 (43)	—	32 (43)	28 (27)
保健医療学 研究科	6	—	—	—	—	—	—	—	3 (6)	3 (6)	3 (6)
合 計	146	113 (98)	136 (129)	80 (49)	48 (50)	1 (1)	14 (8)	32 (43)	3 (6)	427 (384)	151 (144)

(第2志望含む) () は昨年度数

2. 国家試験の合格者数の状況

学部では専任教員による国家試験対策授業、卒業生による対策講座やグループ指導、校内模擬試験、外部講師による対策セミナー、各専任教員による個別指導等を実施するなど、両専攻共に組織的な取り組みと各教員におけるきめ細やかな対応を行い、理学療法学専攻に関しては、2年連続の100%の合格率を達成したが、作業療法学専攻においては残念ながら全国平均を下回る結果となった。両専攻で結果を分析の上有効な方策を共有しながら、令和2(2020)年度は共に全国平均を上回るだけではなく受験生全員の合格を達成できるよう対策を検討していく必要がある。言語聴覚専攻科においては、OCR時代から19年連続合格率第一位を達成した。

(1) OHSU の合格状況

	受験者数	合格者数	合 格 率
理学療法士	61名	61名	100%
作業療法士	30名	24名	80%
言語聴覚士	20名	20名	100%

(2) 全国の合格状況

	受験者数	合格者数	合 格 率
理学療法士	10,749名	10,019名	93.2%
作業療法士	4,795名	4,515名	94.2%
言語聴覚士	2,486名	1,626名	65.4%

3. 就職の状況

求人状況は理学療法士 3,034 件、作業療法士 2,829 件、言語聴覚士 1,533 件であった。

各専攻、専攻科ともに、専任教員が求人票に基づき学生指導を行うと共に、臨床現場におけるネットワークを最大限活用し就職支援を行った結果下記の通りの成果を得た。

	卒業者数	国家試験合格者数	専任職としての就職者数	
			資格に係る業	その他
理学療法学専攻	61 名	61 名	61	0
作業療法学専攻	30 名	24 名	21	0
言語聴覚専攻科	20 名	20 名	16	0

※作業療法学専攻では、国家試験合格者のうち、活動中 1 名・確認中 2 名。

※言語聴覚専攻科では、国家試験合格者のうち、一身上の都合により就職を希望しない者が 1 名、活動中が 3 名。

4. 教育指導

平成 30 (2018) 年度より 2 学期クォーター制を導入し 2 年が経過したが、現在は通常授業の受講のみでは科目の合格レベルに達することができなかった学生に対し、必要な知識・技術が身につくように可能な限りグループや個別でフォローを実施している。しかしながら、成績が低迷している学生においては、継続フォローが複数科目に及び、進行中の科目の学習にも影響を及ぼしている状況が確認され、また、フォローが年度をまたぐ事もあり、基礎的な知識が身に付かないまま応用科目の授業が進み、悪循環に陥る等の問題が生じていた。これらのことを解決するため検討の結果、令和 2 (2020) 年 4 月からフォロー回数に上限を設けるなど進級制度を変更することとなった。

5. 施設・設備

- ・ 2 号館の空調設備一部改修工事を行った。
- ・ 2 号館トイレの全面改修工事を行った。

6. 自己点検・評価

「自己点検・評価報告書」で示している各基準項目の「改善・向上方策」の継続課題について、担当委員会・部署にて内容を精査し実行に移していくことで PDCA サイクルに則り自己点検・評価を実施した。さらには、令和 4 (2022) 年度の再受審へ向けて準備・検討を開始した。

☆ 福田学園校友会の活動状況

1. 理事会及び部会の開催

①理事会

理事会は 6 回開催され、研修活動、在校生支援活動、総会準備、予算案等について積極的な議論がなされた。

②部会

PT部会では研修会を3回、OT部会では研修会を2回、ST部会では研修会を1回実施した。

※今年度の後半は、新型コロナウイルスの影響により、各部会研修会が延期・中止を余儀なくされた。

2. 福田学園校友会研修会実施について

次のとおり令和元（2019）年度研修会〔対象：校友会正・準会員〕を実施した。

日 時：令和元（2019）年5月12日（日）総会時において

講 師： 松木 明好 先生（四條畷学園大学 教授）

テーマ：「クリニカルリーズニングについて」

参加者：35名

講 師： 福村 直毅 先生（健和会病院 医師）

テーマ：「なぜ、完全側臥位法は嚥下治療の切り札になるえるのか」

参加者：81名

3. 在校生・学校支援について

- ・在校生支援として、図書館に約22万円分の図書を寄贈した。
- ・教育的支援として、カンボジアスタディツアー・タイチェンマイ短期留学のために、学園に25万円を寄附し、会員に5万円の助成金を出した。
- ・学園に防犯カメラ1式×2セット（約120万円）を寄贈した。
- ・学校式典では、卒業生に校友会賞を贈り、学園祭にも出店した。
（会長の出席は、新型コロナウイルスの影響で、ありませんでした。）
- ・日本国際ドラゴンボート選手権大会にOCT校友会と合同で参加した。

★ 福田学園

1. 理事、監事、評議員について

理事	選出母体	
1号	設置する学校の長(1名)	福田 益和
2号	評議員会(2名)	宮崎 安弘
		佐藤 誠
3号	学識経験者(4名)	山本 一仁
		清野 佳紀
		渡邊眞一郎
		福田 眞
監事		水島 洋
		村岡 かほる

評議員	選出母体	
1号	学園職員(6~8名)	福田 益和
		佐藤 誠
		伊東 和幸
		石倉 隆
		今井 公一
		越智 久雄
		宗林 功
2号	卒業生(3~4名)	今西 永兒
		高山 厚
		村野 智子
		井口 知也
3号	学識経験者(6~8名)	宮崎 安弘
		山本 一仁
		清野 佳紀
		福田 眞
		福田 祐子
		岡山 保美
		増原 建作
		高橋 弘樹

2. 教職員の状況

		2020年5月1日 現在	2019年5月1日 現在	増 減
OCT教員	専任教員	16	15	+1
	非常勤講師	78	76	+2
	(小計)	94	91	+3
OCR教員	専任教員	14	14	0
	非常勤講師	75	73	+2
	(小計)	89	87	+2
OHSU教員	専任教員	32	34	-2
	非常勤講師	177	171	+6
	(小計)	209	205	+4
事務局	専任事務職員	29	27	+2
	業務委託派遣事務職員	1	3	-2
	(小計)	30	30	0
合計	専任教職員	91	90	+1
	講師・派遣	331	323	+8
	(合計)	422	413	+9

3. 経費削減対策について

ここ数年で、学園のサーバーのクラウド化、及びネット回線及び光電話の契約先の変更による経費削減学園全体の複合機、コピー機、プリンターの全台入替えによる経費削減、また、空調機の更新、及びデマンドコントローラー設置及び電力使用量の監視、1号館照明器具のLED化を行い電気料金の削減を継続して行った。

4. 学園各号館の施設・設備改修計画について

各号館の建物附属設備・機器等について、改修及び入替について緊急性や費用を鑑み、年次で実行に移すための改修入れ替え計画について、2019年度は2号館トイレの全面改修及び6号館の外壁タイル改修（I期）を実施した。さらに、OCTでは、平成23（2011）年度に入替えを行ったPC機器等一式（2部屋）は9年間の経年劣化に伴う不具合やWindows7のサポート終了により、文部科学省の補助金を利用して入替が完了した。また、併せて数十年間の経過に伴う床材や什器（机&椅子）の損傷も大きく、情報処理（PC）教室の整備を行った。さらに、5号館電話設備サポート終了に伴い、電話機器一式を更新した。

5. 自己点検評価、学校関係者評価、第三者機関評価及び評価結果公表について

OHSUにおいては、平成27（2015）年度に「日本高等教育評価機構」による大学認証評価（第三者評価）を受診し、無事に機構が定める大学評価基準に適合しているとの認定を受けている。

OCT、OCRでは2019年度においても、職業実践専門課程の認定（申請条件）の中で、文部科学省が策定したガイドラインに基づき、学内における自己点検・自己評価、また、外部関係者を委員とした学校関係者評価を行うとともに、その結果をOCT、OCRホームページ上に公開した。

6. 「教育の質の確保と向上」に向けた3カ年計画の策定について

経済状況の変化やグローバル化、就労に対する価値観の多様化、少子化等、学校を取り巻く環境は、日々が大きく変化している。この様な大転換期においては、安定した学生数の確保のため、更なる信頼性の向上が求められ、特に教育の質の確保と向上に向けた取組みを行った。このため、引き続き2019年度もOHSU、OCT、OCRにおいては、教育の質の確保と向上に対する3カ年計画（「中期展望」、「期間中の取組み」、OHSUは1年間の振り返り）を策定の上、目標設定等具体的に取り組み、3校とも「教育機材、機器備品の購入、校舎、建物附属設備の改修」については、中期計画の項目に必ず盛り込むこととした。

7. 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の指定について

厚生労働省が主幹となり、非正規雇用労働者である若者等がキャリアアップ・キャリアチェンジして安定的に働くことができるよう教育訓練給付が拡充された『専門実践教育訓練』において、OCRでは、2019年度に作業療法学科（3年制）において再指定を受けることができた。

8. 教育訓練給付制度（一般教育訓練）の指定について

労働者の主体的な能力開発の取組み又は中長期的なキャリア形成の支援、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする教育訓練給付にある『一般教育訓練』において、2019年度に大学院（健康生活支援学領域）及びOCR理学療法学科が指定を受けることができた。

9. ネット出願の導入について

OCT に於いては、「キャリア教育共済協同組合」のネット出願事業の先行的取組みを継続利用し、平成 28 (2016) 年度 41 名、平成 29 (2017) 年度 53 名、平成 30 (2018) 年度 93 名、令和元 (2019) 年度 95 名のネット出願となった。特に、年明け 1 月以降のネット出願数が、ネット出願全体の 80% 強を占め、明らかに大学からの進路変更や併願組の出願が目立った。今後、文科省が推進する『高大接続改革』にも対応したネット出願のシステム内容についても注視して行く必要がある。

OHSU (学部・ST) および OCR は、全ての入試をネット出願にて実施した。文科省の方針では、令和 5 年 (2023) 年度入試にむけて調査書の完全電子化を目指すとしており、今後 e ポートフォリオの普及等と相まって、高校生・社会人の隔てなくネットでの出願が加速すると見込まれる。

参考資料

★大阪工業技術専門学校

<学科別学生数の状況>

(2020年5月1日現在)

学 科 名	修業年数	1 学年	2 学年	在籍数	増減	定 員	在籍率 (%)
建築学科	2 年	1 4 4	1 0 2	2 4 6	+ 2 0	2 4 0	1 0 3 %
建築設計学科	2 年	3 1	2 3	5 4	+ 1 3	6 0	9 0 %
設備環境デザイン学科	2 年	1	7	8	- 1 8		
大工技能学科	2 年	3 4	3 4	6 8	- 8	8 0	8 5 %
インテリアデザイン学科	2 年	4 3	3 3	7 6	+ 1 4	8 0	9 5 %
ボット・機械学科	2 年	4 4	4 6	9 0	+ 3	8 0	1 1 3 %
建築士専科	1 年	2 8	0	2 8	- 1 8	5 0	5 6 %
I 部 小 計		3 2 5	2 4 5	5 7 0	+ 6	5 9 0	9 5 %
増 減		- 1 6	+ 2 2	+ 6			
建築学科Ⅱ部	2 年	4 6	4 2	8 8	- 3	1 0 0	8 8 %
フレックス建築学科	2 年	7	1 3	2 0	+ 9	8 0	2 5 %
Ⅱ 部 小 計		5 3	5 5	1 0 8	+ 6	1 8 0	6 0 %
増 減		+ 5	+ 1	+ 6			
合 計		3 7 8	3 0 0	6 7 8	+ 1 2	7 7 0	8 7 %
増 減		- 1 1	+ 2 3	+ 1 2			

※設備環境デザイン学科は、募集停止中のため在席率を算出しておりません。

その為、I 部小計と合計の在席率は、設備環境デザイン学科の在籍数を含まず算出しております。

★大阪リハビリテーション専門学校

<学科別学生数の状況>

(2020年5月1日現在)

学科名	修業年数	1学年	2学年	3学年	4年生	在籍者数	定員	在籍率(%)
理学療法学科	3年	32	27	26	—	85	120	70.8
作業療法学科	3年	33	37	25	—	95	120	79.2
合計		65	64	51	—	180	240	75.0

★大阪保健医療大学

<学科—専攻、専攻科別学生数の状況>

(2020年5月1日現在)

専攻名	修業年数	1学年	2学年	3学年	4年生	在籍者数	定員	在籍率(%)
理学療法学専攻	4年	85	69	79	54	287	280	102.5
作業療法学専攻	4年	36	36	23	14	109	120	90.8
学部小計		121	105	102	68	396	400	99.0
保健医療学研究科	2年	3	6	—	—	9	12	75.0
言語聴覚専攻科	2年	29	25	—	—	54	80	67.5
合計		153	136	78	92	459	492	93.3